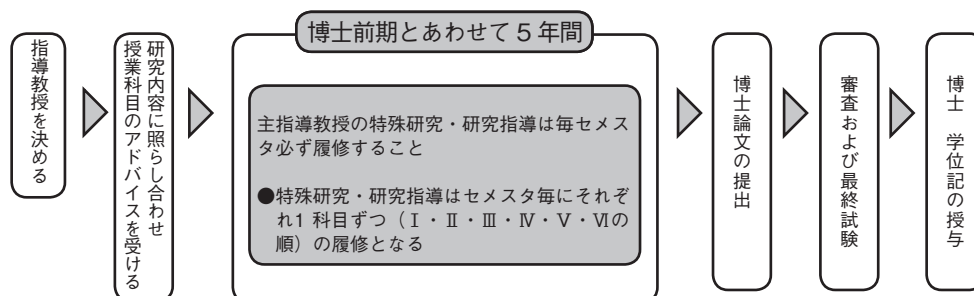


工 学 研 究 科

機能システム専攻

後期課程

履修の流れ



機能システム専攻

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職 名	担当教員
◇研究指導				
機能システム特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員)
機能システム特殊研究Ⅱ	講義・実験			尼子(兼任)、大久保(兼任)、小河(兼任)、加藤和(兼任)、
機能システム特殊研究Ⅲ	講義・実験			小室(兼任)、小山(兼任)、西郷、田中尚(兼任)、
機能システム特殊研究Ⅳ	講義・実験			田村、椿、寺田(兼任)、中野、堀内(兼任)、望月(兼任)、
機能システム特殊研究Ⅴ	講義・実験			吉田善(兼任)、神田、松元(兼任)、本橋(兼任)、
機能システム特殊研究Ⅵ	講義・実験			山内、吉本智(兼任)、和田、物部
機能システム研究指導Ⅰ			}	
機能システム研究指導Ⅱ				(各指導教員)
機能システム研究指導Ⅲ				尼子(兼任)、大久保(兼任)、小河(兼任)、
機能システム研究指導Ⅳ				加藤和(兼任)、小室(兼任)、小山(兼任)、西郷、
機能システム研究指導Ⅴ				田中尚(兼任)、田村、椿、寺田(兼任)、中野(兼任)、
機能システム研究指導Ⅵ				堀内(兼任)、望月(兼任)、吉田善(兼任)

履修方法

博士後期課程

1. 各自専攻分野に従い、機能システム研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則として機能システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ、機能システム研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

読み替えについて

学年暦、窓口、修士・博士論文提出方法などは、理工学研究科を読み替えること。

ただし、博士学位論文提出要件は入学年度の大学院要覧を参照のこと。

客員教授

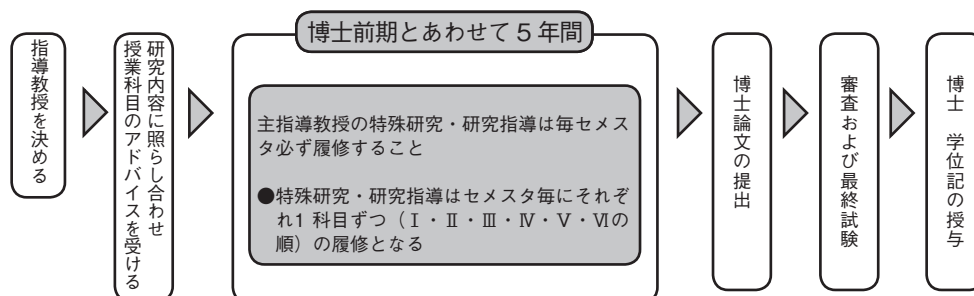
大学院の教育研究の高度化・活性化・国際化を促進するため、学外研究機関等で活躍している研究者等に研究指導等をお願いしているので、指導を希望する場合は、所属の指導教員に申し出ること。

西郷 宗玄

バイオ・応用化学専攻

後期課程

履修の流れ



バイオ・応用化学専攻

博士後期課程

バイオ・
応用化学

授業科目・研究指導	講義・ 実験の別	単位	職 名	担当教員
◇研究指導				
バイオ・応用化学特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員) 泉(兼担)、勝亦(兼担)、蒲生(兼担)、 川瀬(兼担)、福島(兼担)、吉田泰(兼担) 安藤(兼担)、田島(兼担)
バイオ・応用化学特殊研究Ⅱ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅲ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅳ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅴ	講義・実験			
バイオ・応用化学特殊研究Ⅵ	講義・実験			
バイオ・応用化学研究指導Ⅰ			}	(各指導教員) 泉(兼担)、勝亦(兼担)、蒲生(兼担)、 川瀬(兼担)、福島(兼担)、吉田泰(兼担)
バイオ・応用化学研究指導Ⅱ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅲ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅳ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅴ				
バイオ・応用化学研究指導Ⅵ				

履修方法

博士後期課程

1. 各自専攻分野に従い、バイオ・応用化学研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則としてバイオ・応用化学特殊研究Ⅰ～Ⅵ、バイオ・応用化学研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

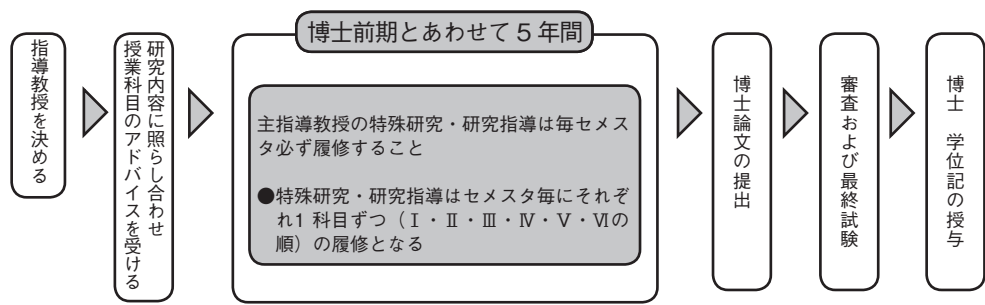
読み替えについて

学年暦、窓口、博士論文提出方法などは、理工学研究科を読み替えること。
ただし、博士学位論文提出要件は入学年度の大学院要覧を参照のこと。

環境・デザイン専攻

後期課程

履修の流れ



環境・デザイン専攻

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職 名	担当教員
◇研究指導				
環境・デザイン特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員)
環境・デザイン特殊研究Ⅱ	講義・実験			秋山 (兼任)、石田 (兼任)、鈴木崇 (兼任)、
環境・デザイン特殊研究Ⅲ	講義・実験			田中毅 (兼任)、野澤 (兼任)、
環境・デザイン特殊研究Ⅳ	講義・実験			福手 (兼任)、松野 (兼任)、
環境・デザイン特殊研究Ⅴ	講義・実験			尾崎、工藤 (兼任)、
環境・デザイン特殊研究Ⅵ	講義・実験			及川 (兼任)、村野 (兼任)
環境・デザイン研究指導Ⅰ			}	(各指導教員)
環境・デザイン研究指導Ⅱ				秋山 (兼任)、石田 (兼任)、鈴木崇 (兼任)、
環境・デザイン研究指導Ⅲ				田中毅 (兼任)、野澤 (兼任)、
環境・デザイン研究指導Ⅳ				福手 (兼任)、松野 (兼任)
環境・デザイン研究指導Ⅴ				
環境・デザイン研究指導Ⅵ				

履修方法

博士後期課程

1. 各自専攻分野に従い、環境・デザイン研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則として環境・デザイン特殊研究Ⅰ～Ⅵ、環境・デザイン研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

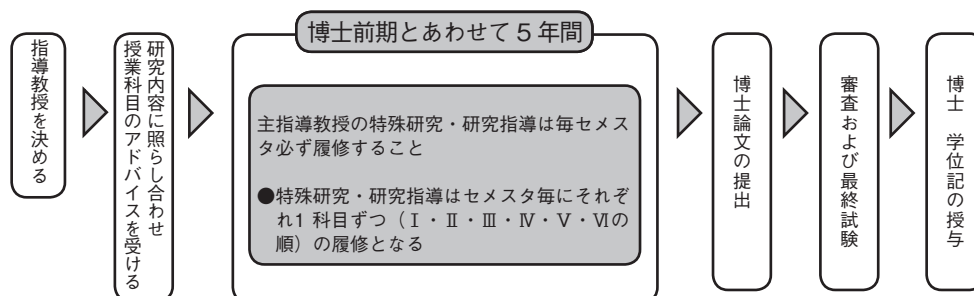
読み替えについて

学年暦、窓口、修士・博士論文提出方法などは、理工学研究科を読み替えること。
ただし、博士学位論文提出要件は入学年度の大学院要覧を参照のこと。

情報システム専攻

後期課程

履修の流れ



情報システム専攻

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・実験の別	単位	職 名	担当教員
◇研究指導				
情報システム特殊研究Ⅰ	講義・実験		}	(各指導教員) 伊藤、上原、木本(兼担)、塩谷、 篠永(兼担)、土田、藤野義(兼担)、堀口、 加藤正、杉本、加藤千、藤本
情報システム特殊研究Ⅱ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅲ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅳ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅴ	講義・実験			
情報システム特殊研究Ⅵ	講義・実験			
情報システム研究指導Ⅰ			}	(各指導教員) 伊藤、上原、木本(兼担)、塩谷、 篠永(兼担)、土田、藤野義(兼担)、堀口
情報システム研究指導Ⅱ				
情報システム研究指導Ⅲ				
情報システム研究指導Ⅳ				
情報システム研究指導Ⅴ				
情報システム研究指導Ⅵ				

履修方法

博士後期課程

1. 各自専攻分野に従い、情報システム研究指導を担当する教員の研究指導を受けなければならない。
2. 原則として情報システム特殊研究Ⅰ～Ⅵ・情報システム研究指導Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。

読み替えについて

学年暦、窓口、修士・博士論文提出方法などは、理工学研究科を読み替えること。

ただし、博士学位論文提出要件は入学年度の大学院要覧を参照のこと。